

校訓「不撓不屈」 原校区小中一貫教育目標「自立と共生」

学校教育目標「自芯と優情を育み 自ら行動できる生徒」



しお ざい
潮 騒



七夕飾り
タワーより
飾は尾崎Cミディレク

沼津市立原中学校

学校だより NO.5

令和8年7月10日

文責：中嶋記恵子

一学期の歩みから、自らの夢に挑む夏へ！

夏の気配が色濃くなる中、一学期の締めくくりを迎えました。今学期も、保護者・地域の皆様の温かい御支援に支えられ、充実した教育活動を行うことができましたことを、教職員一同、心より感謝申し上げます。

先月20日から始まった中体連では、選手たちのひたむきなプレーと、心を一つにした全力の応援が「原中プライド」として光り輝きました。この感動を次の糧とし、それぞれの新たなステージへ進む子供たちを、これからも温かい眼差しで見守り、応援していただけますようお願いいたします。県大会へ挑む選手たちには、さらに高い壁を乗り越え「顔晴(がんばん)って」ほしいと願っています。

来週からの教育相談では、一学期の成長を振り返り、これからの目標を御家庭と共有する大切な時間になりたいと思います。特に3年生にとっては「夏を制するものは受験をも制する」勝負の夏です。子供たち一人一人が「命を大切にする夏休み」を送り、二学期にたくましく成長した姿で会えることを楽しみにしています。



F組 美術制作作品
テーマ「夏」

総合的な学習の時間「探究学習」

「志ラボ」パイロット校として、 原中の大冒険がスタート！



本校は、令和8・9年度の2年間、沼津市教育委員会から新しい探究学習「志(こころざし)ラボ」のパイロット校(先行実施校)に指定され、6月30日より全校で本格的な取組がスタートしました。令和10年度からの市内全面実施に向け、原中学校がその先陣を切って新しい時代の学びをリードしていきます。

◆「志ラボ」ってどんな学習？

これまでの教科書にある「一つの正解」を暗記する学習から一歩進み、「自ら問いを立て、自分だけの答えを創り出す力」を育む、沼津市独自の総合的な学習の時間です。生徒一人一人が、自分の「ワクワクする興味・関心」に合わせて完全自由なテーマを決め、学校の枠を超えて「沼津の街全体」をフィールドに探究を進めます。あるいは、その域から出る場合もあるかと思いますが、「失敗はゲームオーバーじゃない」を合言葉に、試行錯誤するプロセスそのものを大切な宝物として学んでいきます。

◆ 探究のステップと今後の見通し

【6月30日～】ステップ① テーマ(クエスト)を決定 「テーマは完全自由!」「みんな違って、みんなよい探究!」

昨年度におこなった「夢プレゼン」を振り返り、自分の「好き」や「もっと調べたいこと」から自分だけの探究テーマを決定します。

【夏季休業～秋】ステップ② 情報収集・実践 「失敗はゲームオーバーじゃない!」「試行錯誤こそが最高の宝物」

本を読んだり、実際に街へ出たり、人に話を聞いたりしながら、必要な情報を集めて実験・分析を繰り返します。

【冬～】ステップ③ まとめ・表現(発信) 「ワクワクが最高のカタチになる!」「失敗も迷いも、全部大切な学びのタネ!」

探究した成果を自分の言葉でまとめ、周囲や世界に向けて発信・発表を行います。

◆学びは1年で終わりません!

探究活動は1年で完結しなくても大丈夫です。同じテーマを次年度、再来年度へとつなげてじっくり深めたり、新たなテーマにステップアップしたりと、一人一人の興味や進捗に合わせて、自分のペースで学びを継続していきます。



2学期から「探究型ラーケーション」スタート!

平日にお家の人と校外で体験や探究を行う新しい学習制度(年最大3日、出席停止扱いとなる制度)が始まります。

★ 志ラボの「テーマ探し」にぴったり! 博物館、地域の史跡訪問、自然観察など、親子での全ての体験が探究の種になります。

★ 申請のカンタン4ステップ

① 計画 → ② 学校へ相談 → ③ スマホ申請(1週間前迄) → ④ 体験

※詳細は、7月7日Cラーニングにて配付のフライヤーを御覧ください。

原中生の活躍 おめでとうございます!

※ 敬称略

*5月28日 全校集会での表彰

女子卓球部

沼津市健全育成杯

個人戦 中学2年女子の部 優勝 岡 希寿七

3 位 飯田 寧音

女子ソフトテニス部

沼津中学生選手権大会(団体戦) 3位

サッカー部

沼津市中学校サッカー選手権大会 準優勝 (沼津西FC)

中体連の表彰は、
1学期終業式の日に行います。



*令和8年度 第45回沼津市わたしの主張大会

6月13日、沼津市民文化センターにて「わたしの主張大会」が開催され、本校を代表して3年生の土屋星羅さんが出場しました。

全体のトップバッターという大きな緊張感に包まれる中、土屋さんは「**誰かの背中を押せる人に**」という題名で、自身の将来の夢とそこにかける強い決意を、堂々と発表しました。

土屋さんの夢は「小学校の先生になること」。かつて人前での発表が苦手だった自分を、温かく励まし自信をくれた担任の先生への憧れと、身近で学校の先生として働く叔母の姿から受けた大きな影響、そして、何より「子どもが好き」という純粋な気持ちから始まった夢でした。その夢は、中学校の合唱コンクールでクラスのために一生懸命に行動する仲間の姿に刺激を受け、指揮者として自らも何度も練習を重ねてやりきり、自信をつかんだという原中での豊かな経験を経て、より深い「覚悟」へと変わっていきました。

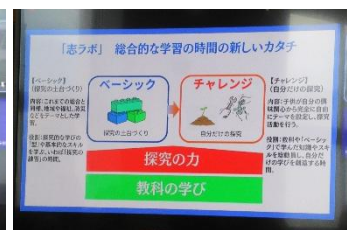
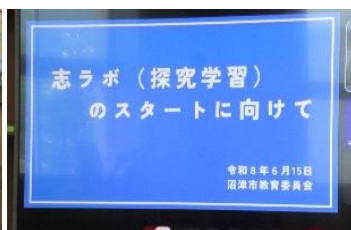
土屋さんは、最後にこう投げ掛けました。

「私の夢は、私だけのものではなく、誰かの未来を明るくするための挑戦だ。だから私は、絶対に夢をあきらめらず、前に進み続けたい。」

自らの言葉で未来への決意を凜と語った土屋さんの姿は、本校の教育目標である「自芯と優情」そのものであると受けとめました。発表後は会場全体から温かく大きな拍手が送られました。多くの人の心に深く響く、原中生の誇りを感じるすばらしい発表でした。



*令和8年度第1回原地区学校運営協議会 開催



1ページにも書きましたが、本校は、**R8,9「志ラボ」のパイロット校**に指定されています。

6月15日(月)、原東小学校にて「第1回原地区学校運営協議会」が開催されました。

当日は授業参観の後、令和10年度から市内で全面実施となる探究学習「志ラボ」についてのオンライン説明を視聴し、原中校区三校の教職員とも新しい学びの方向性を共有しました。

その後の協議では、各校の方針について委員の皆様から貴重な御意見をいただき、今後の学校運営に生かしていくことを確認しました。

今年度も地域一体となった御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

〈学校運営協議会委員〉 敬称略

内田卓雄	学校運営協議会会長	石原厚	沼津市商工会事務長	塩崎未来	原中 PTA 会長
尾崎庸夫	CS ディレクター	竹内香里	沼津間税会副会長	吉澤誠子	原小 PTA 会長
山本幸平	原地区連合自治会長	廣田英美	児童生徒支援員	鍋島奈苗	原東小 PTA 会長
栗倉清	学校運営協議会副会長	鶴谷主一	はらまち幼稚園園長		
原中・原小・原東小 校長、教頭					